

税関前交差点の 歩道橋デザイン案 決定

神戸 神戸市は、「渡りたくなる歩道橋」をテーマに募集していた税関前歩道橋の架け替えにかかる設計競技(コンペ)の審査を終え、最優秀作品を発表した。今年度中に設計を始め、2022年度末の完成を目指す。

場所は、JR三ノ宮駅や市役所前を南下するフラワーロードと、海側を東西に走る国道2号が交わる税関前交差点。海側ではウォーターフロントの再開発が進むが、国道2号によって歩行者動線が遮られることや、阪神高速の高架が視界を遮っていることなどが原因で、三宮周辺地区との分断感が課題となっていた。そのため、分断感を払拭する斬新なデザイン、かつ構



最優秀となったデザイン案。東遊園地の一部を使った緩やかなカーブなどの造形美や安心安全面の設計も評価された。

造面にも優れた案を採用した。

市では、港湾物流がポートアイランドなどの沖合に移転したあとの港湾地区と都心とのめざす姿である将来構想を策定している。今回の歩道橋架け替えで、都心からウォーターフロントへのスムーズな歩行者動線を確保し、街の回遊性向上につなげる。

市の担当者は「三宮から見たときに、海側に何かありそうと、期待して行きたくなるような歩道橋です。全国的にも珍しい自碇式(じていしき)吊橋という形式で、構造物としても見応えあり。橋マニアの方にも訪れていただければ」と話した。

神戸市 スマホなどで申請手続きが可能に

神戸 神戸市は2019年度にデジタル申請システムの実証実験を開始する。兵庫区役所と北神区役所で、国民健康保険の加入申請などの業務を対象に実証実験を行い、3年後に新設される西区役所ではほぼすべての業務で利用できるようになる。システム導入後は、自宅でスマートフォンやタブレットで情報を選択しながら申請書の作成が可能に。住所、氏名などは複数書類で共有するため、同じ内容を記入する手間も省ける。入力後はQRコードが作成され、区役所の窓口でコードを読み込めば、記入済みの申請書が印刷され、印鑑を押すだけで申請が完了する。また、郵送申請ができる



手続きを順次拡大し、郵送での受け付けも進める。一方で、スマホ入力に不慣れた高齢者などを想定し、窓口にもタブレット端末を導入。職員の説明を受けながら作成もできる。

システム導入で、市民の利便性向上のほか、職員のデータ入力や窓口対応の時間が削減でき、大幅な業務効率化につながる。また、紙の紛失や転記ミスも防げるため、より安全な運用が期待できる。担当者は「窓口にも並ぶ時間や記入の手間を大きく減らせる。戸籍や国が管理する年金などの書類以外は、大半の申請書を置き換えたい」と話した。

振替輸送で乗車票不要に

関西 西の鉄道事業者18社局は、3月16日より列車の運転見合わせ時に実施する振替輸送の利用方法を変更すると発表した。これまでは、特定の乗換駅でのみに利用に限定されていたが、今後は振替乗車の対象となる乗車券の区間内であれば任意に選択できるようになり、振替乗車票の配布も省略される。



なお、現在は「改札入場後のICカード」も振替輸送の対象だが、煩雑な手続きを要しているため、今後は対象外となる。IC定期券は引き続き対象となる。例外など詳しくは利用する鉄道にて確認を。

西宮の料理人が選んだグルメ 期間限定で本を発売

西 西宮市内の飲食店に詳しい料理人らが推薦する、「西宮の間違いないお店」だけを選んだグルメ本「西宮グルメマスターズ」が3月末までの期間限定で販売中だ。

本には、地元で飲食店を営む料理人と、兵庫栄養調理製菓専門学校教授の計5人が選んだ39店を掲載。和食・洋食のほか、中華や焼肉・焼き鳥など、素材や味にこだわる店を独自取材してまとめた。発行元の実行委員会には、西宮各地で行われていた「街バル」の実行委員長らが集まった。お得感を打ち出すバルイベントとは全く違う視点で、食のプロがおいしいと思う店を紹介したいと、今回



1冊864円。市内のブックファーストほか、一部書店、商店、インターネットで販売。問い合わせは西宮グルメマスターズ実行委員会(050-3483-1377)まで。

のグルメ本出版を企画したという。編集担当者は、「クーポンなどのお得要素はありません。付度なしの内容で勝負するグルメ本です。地元も食も知り尽くした料理人が選んだのはどの店なのか、確かめてほしい」と話す。これまで一度も取材に応じたことのない店もあるという。選者のひとり、「るこらるっくら」のオーナーシェフ田中忠雄さんは、「特におすすめする西宮の店だけを厳選しました。保存版として家庭に1冊置いて、様々なシーンで活用してもらえれば」と語った。

神戸ビーフ&イノシシの革製品 パリでお披露目

神戸 神戸市は1月、フランス・パリで「神戸ビーフ」の牛の皮を使った牛革製品と、市内で捕獲されるイノシシの皮を使った製品のブランド発表会を行った。知名度の高い神戸ビーフブランドを活かし、神戸の新たな地域資源として国内外の販売につなげる狙いだ。参加した欧州のデザイナーやファッション関係者からは、「世界ブランドになる可能性がある」との声も聞かれたという。

兵庫県で年間約5,000頭が認定される神戸ビーフだが、皮はこれまで他の牛と区別なく扱われていた。革小物を扱う市内の事業者から「もっと神戸ビーフブランドを活かせないか」と相談があり、市

パリの発表会の様子。会場のアトリエには、革靴やバッグなどの革小物や家具10点を展示し、約400名が来場した。



が商品開発を企画。事業者に参画を呼びかけ、神戸ビーフを扱う神戸市中央卸売市場西部市場や、家具店などの協力で実現した。海外展開を見据え、新ブランドのお披露目は最初から流行の発信地であるパリを考えていたという。市の担当者は、「財布や靴、ファッション以外にも広く活用できるはず。イノシシの皮も珍しいと興味を持ってもらえた。今回の発信をきっかけに、幅広い事業者と協力してブランド化させたい」と話した。

JR以外の電鉄でもICOCAを発売

阪 急電鉄、阪神電車、能勢電鉄、北大阪急行電鉄の各社におけるICOCAとICOCA定期券の発売が3月1日に開始する。各鉄道利用の利便性向上とICカードのさらなる利用促進を目指し、4社とJR西日本が昨年合意。スルッとKANSAI協議会とJR西日本が合意した「ICカード乗車券を活用した連携サービス」に基づくものとしてスタートした。



各種カードは、阪急電車・阪神電車・北大阪急行電鉄各駅に設置している券売機や定期券発売所などで購入できる。新規購入時にはデポジット500円が必要で、使用中の磁気定期券をICOCA定期券に変更することも可能。詳しくは利用する鉄道にて確認を。

子どもを犯罪被害から守ろう ～インターネットを通じた犯罪被害から子どもを守る～

協力:兵庫県警察

進学・進級や就職等を機に、子どもにスマートフォン等を持たせる保護者も多いだろう。

しかし、子どもたちがインターネットを通じて、親の目が届かないところで違法・有害な情報にアクセスしたり、SNS等を通じて知り合った人から性被害等に遭うといった事件が後を絶たない。

特に、SNS等で知り合った人にだまされたり脅されたりするなどし、衣服を着用していない体の写真等を送った結果、その写真が児童ポルノとしてインターネット上に出回ってしまう「自画撮り被害」が全国的な問題となっている。

保護者は、子どもたちが被害に遭わないために、スマートフォンやパソコン等をどのように使っているか把握した上で、

- SNS等に自分の個人情報を書き込まない。
- SNS等で知り合った人と直接会わない。
- 知らない人はもちろん、たとえ知人や交際相手、親しい友達であっても衣服を着用していない体の写真を絶対に送らない。

といったことを、子どもたちに徹底させよう。

フィルタリングで有害情報をシャットアウト

子どもたちが使用するスマートフォンやパソコンには、必ずフィルタリングを利用しよう。

フィルタリングサービスは、有害サイトへのアクセスや使用時間等を制限することができ、インターネットを利用するゲーム機等でも設定が可能である。詳しい設定方法等は、各携帯電話会社等に問合せを。

